

第4回 下小岩地域 小学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】

令和3年4月20日（火）18時30分～19時15分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【主な内容】

(1)統合に係る諸課題について

- ・ 諸課題の中でも、校名、学用品、校章、校歌を優先的に検討していくこととする。
- ・ 本日は校名に関し検討し、それ以外の課題については次回以降に検討していく。

(2)校名の公募実施（案）について

- ・ 校名については、公募を実施することとする。
- ・ 公募の方法については、事務局から提示された A 案（応募対象：児童・保護者のみ） B 案（応募対象：児童・保護者及び通学区域内にお住まいの方）の内、B 案を軸に行う。

「B 案の概要」

対象 両校の児童とその保護者、両校の学校教職員、通学区域内にお住まいの方

条件 校名案に『下小岩』の地名を入れる 現校名の応募も可

票数により決定しない

(3)校名の選定に向けた今後のスケジュール（案）について

次回は、公募の「応募案内ポスター（案）」と「応募用紙（案）」を議題とする。

【意見交換内容】

- ・ 小松川中学校の例では広い範囲で公募したようだが、今まで統合した学校の中で、児童と保護者のみといった応募対象を絞った事例はあるのか。もしあったのなら、応募対象を広くとった場合と、どのような違いがあったのか。

応募対象は、清新ふたば小が「どなたでも」、小松川中が「小松川・平井地域にお住まいの方」としていた。

応募対象を絞ると学校も積極的に周知していただけるため、集中して多くの応募案を回収できるということが想定される。

小松川中学校の公募の際は、応募箱を設置した学校で積極的に声かけいただいたことで、1週間で多くの件数をいただいた。したがって、応募対象を絞ると周知対象が限定され、短期間で多くの意見をもらえることが想定される。一方で応募対象を広げた場合、掲示板や口コミで保護者や卒業生からも応募いただくことができるが、一定数集めるための期間の調整が必要となる。（事務局）

- ・本日の会議では公募（案）の提示のみという認識か。もしよければ本日で公募方法の検討まで進め、A案かB案というところまで決定したほうがよいのではないかと。そうすれば、スケジュールを短縮できる。
- ・それでよいと思う。この会には学校評議員や地域の方に参加していただいている。学校は地域のシンボルであるため、校名について応募を出したいという気持ちが強いのか、それともメインになるのは子ども達なので、その意見を尊重しようという考えなのか。もし、地域として意見を出すべきという気持ちが強いのであれば、地域に何十年も残るシンボルであるため、広く意見を集めた方がよいと思うが皆様はいかがか。
- ・校名は、最終的に教育委員会で決定することになる。そして公募するということなら、広く校名を募集した方がよいのではないかと。そうするとB案の方がよいと考える。
- ・校名は、児童、保護者、卒業生、地域が関係すること。そういう意味でA案は応募範囲が狭いと考える。もっと広く皆さんの意見を取り入れることができればと思う。地域の意見を参考にすることで、学校に対する関心が高まるきっかけとなるのが期待できるのではないかと。また、学校教職員の方に参加してもらおうと、今後の学校運営にもよい影響になると思う。
- ・主となるのは今通っている児童・保護者だが、今後を担う方にも考えていただき、小学校をつくってもらえればと思う。地域のシンボルでもあるし、地域とのつながりもあるから応募範囲を広く考えてよいと思う。
- ・いろいろ意見はあると思うが、B案で概ね皆さんの意見が一致していると思う。B案を軸として具体的なところは話し合い、事務局で集約すればよいのではないかと。
- ・今回、第5回で議論する予定だった「公募の検討」まで進めることができた。次回までに本日お示しした小松川中学校の例を参考に公募の「応募案内ポスター（案）」と「応募用紙（案）」を作成し、郵送したい。事前にお目通しいただき、次回の合同会議の際に修正等のご意見をいただきたい。早ければ6月に応募用紙を配布し、案内を掲示できるようにしたいと考えている。（事務局）

以上